

1998年3月25日

株式会社クラレ

歯科用光重合レジン<フォトCMO - 21>の発売について

当社は顎関節症や歯列矯正の治療に使用する成型物(スプリント)を作製する歯科材料製品を開発し、<フォトCMO - 21 (1)>の製品名で、1998年4月1日より、総代理店の株式会社モリタを通じて発売します。

近年、噛むことの重要性が再認識され、口腔周辺ばかりではなく、顎の痛み、頭痛、めまい、肩こり、腰痛などの全身症状にまで及ぶことがあると言われていました。

これらの症状の原因となる病気が顎関節症と呼ばれるもので、顎の痛みや、口が開きにくくなったり、不快な雑音を生じるなどの症状が生じます。その発症頻度は年々増加しており歯科関連の新しい病気として注目され、平成7年より学校検診にも顎関節症の診査が取り入れられています。

顎関節症の治療方法は薬物療法から外科的治療に至るまで様々な方法があり、スプリント療法は其中で最も一般的な方法の一つです。スプリントと呼ばれるプラスチック製のマウスピースのような器具を口腔内に装着することにより、噛み合わせ位置を正常化したり、顎の筋肉の緊張を和らげることにより症状の解消を図るものです。しかしながら、これまでは成型精度、強度、耐摩耗性の向上が望まれていました。

<フォトCMO - 21>は、当社が長年培ってきた触媒や複合化技術により成型精度、強度、耐摩耗性、そして成型性といったスプリント材料に重要な4つの特性をバランスよく持ち合わせた材料です。重合収縮率の小さいスティック状の光重合レジン、石膏模型上に直接盛りつけることにより、簡単に精度良く作製できるので、口腔内に装着する際の調整を大幅に軽減することができます。

この材料は、この他歯列を整える動的な矯正治療を行った後の歯列の戻りを防ぐことを目的とした保定床と呼ばれる装置などの矯正装置を作製する材料としてもご使用いただけます。

噛むことの大切さが認められつつある今日、この度発売する<フォトCMO - 21>が高い歯科医療サービスの一助となることを期待しています。

《参考》

1 : C = Cranium (頭蓋)、M = Mandible (下顎)、O = Orthopedic (是正) の意味で命名しています。

<フォトCMO - 21>の概要

1. 用途 各種プリントの作製
顎関節症の治療
歯列の矯正治療
口腔習癖（歯ぎしりなど）の治療
その他の矯正治療

2. 特長

適合性がよい

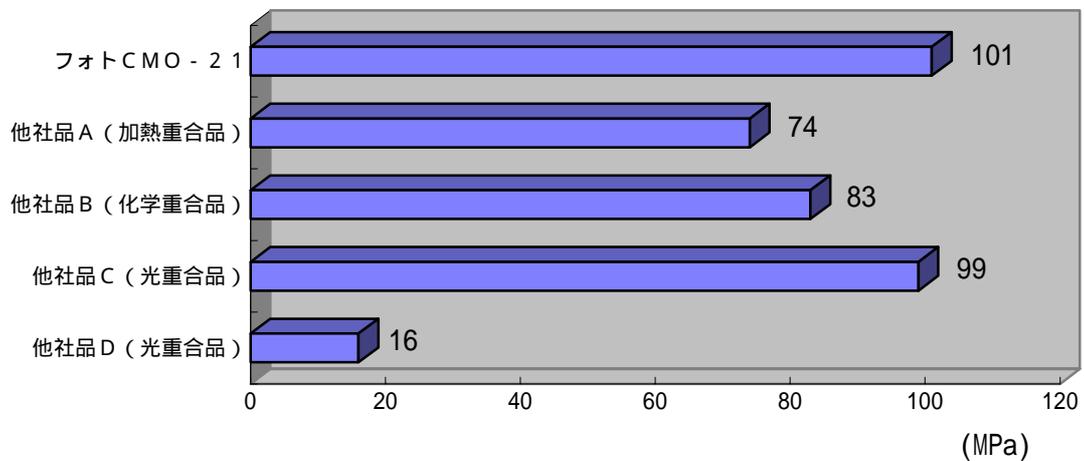
重合時の変形が少ないので口腔内セット時の調整を軽減でき、しかも装着感が良好

破折しにくい

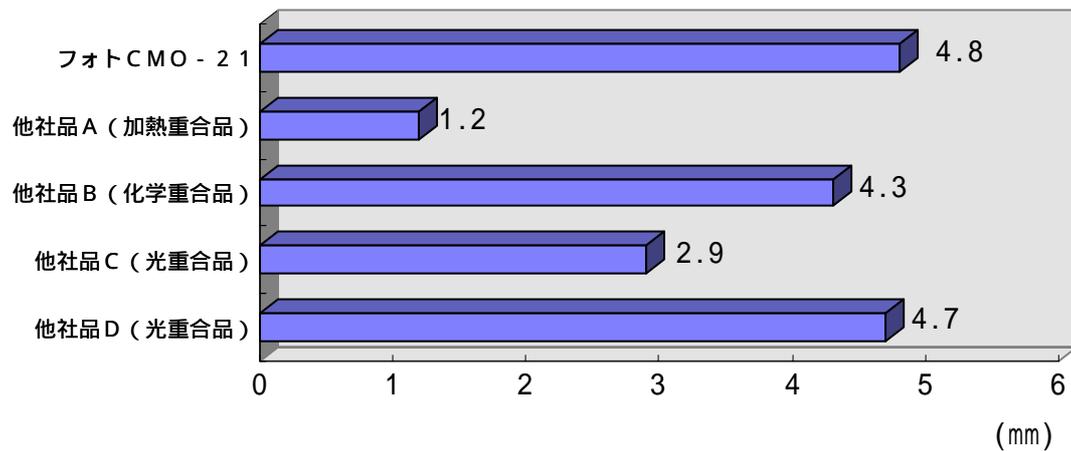
強度とたわみを両立し（下図ご参照）、着脱時や装着中の破折の不安を軽減

参考）曲げ強度及びたわみのデータ（クラレ測定）

曲げ強度



たわみ（曲げ破断たわみ）



摩耗が少ない

咬合などによる摩耗が少なく、歯科医師が設定した顎位・歯列位を維持

摩耗試験結果（クラレ測定） μm

フォトCMO - 21	6.5
他社品A（加熱重合品）	3.9
他社品B（化学重合品）	4.2
他社品C（光重合品）	1.3
他社品D（光重合品）	1.55

（試験方法：ラインフェルダー式摩耗試験 40万回後の断面形状）

成型しやすい

スティック状の光重合型レジン石膏模型上に直接築盛

3. 販売構想

1) 販売ルート

総代理店の株式会社モリタを通じ、全国の歯科医師、歯科技工士に販売

発売元：株式会社 クラレ

製造元：株式会社 モルテンメディカル

2) 希望小売価格（歯科医院入り価格）

セット 9,800円

単品 7,200円（レジンペースト）

2,500円（接着プライマー）

1,200円（オキシバリアー）

350円（小筆）

セットには上記単品4品目が含まれます。

3) 販売目標

初年度：1億円（希望小売価格ベース）

4) 株式会社モリタの概要

本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18

TEL：06-380-2525（代表）

代表取締役社長 森田憲造

資本金 5億5千6百万円（1997年3月31日時点）

業務内容 歯科医療機器、材料など歯科医療全般にわたるハードウェアの流通
業界情報などソフトウェアの紹介
歯科医療システムなどのコンサルティング業務

5) 株式会社モルテンメディカルの概要

本社 広島市西区中広町1 - 4 - 15
TEL : 082 - 232 - 1385 (代表)

代表取締役社長 民秋史也

資本金 1千万円(1997年9月時点)

業務内容 歯科材料及び機器研究開発及び製造販売

以上